



2009年3月期 第2四半期決算について

2008年11月7日

本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

本資料中の「E」は記載の数値が計画または業績予想であることを表しています。

第2四半期決算(累計)の概況及び業績予想

【連結決算】

- 連結営業収益は減収(対前年比 0.4%)
- 連結営業利益は主として移動通信事業セグメントの影響により、大幅増益(対前年比+32.1%)

【業績予想】

- 2009年3月期の連結営業利益は当初業績予想から変更なく、前年の特殊要素を除き実質的な増益を見込む

(単位: 億円)

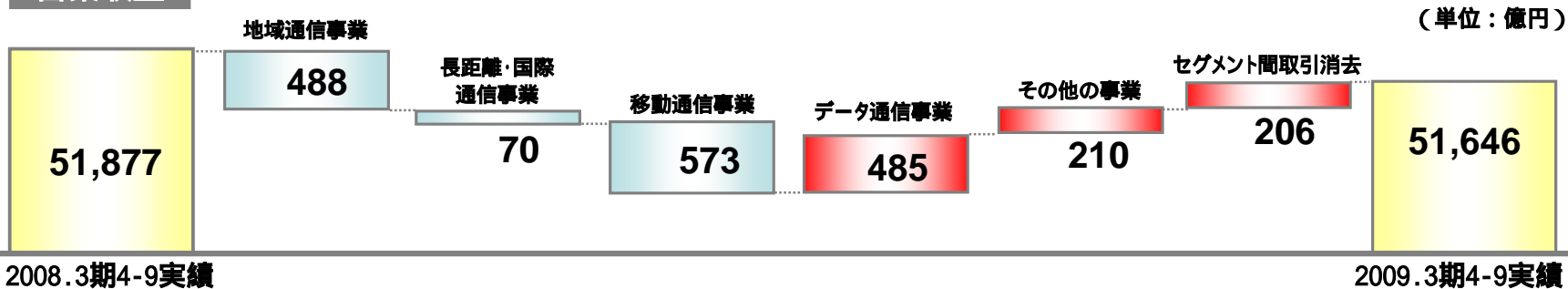
	2009年3月期 第2四半期実績	2008年3月期 第2四半期実績	対前期 増減額 (対前期増減率)	2009年3月期 通期業績予想 (見直し後)	2009年3月期 通期業績予想 (当初)	対当初予想 増減額	対前期 増減額
営業収益	51,646	51,877	231 (0.4%)	105,800	107,500	1,700	1,009
営業費用	44,195	46,237	2,042 (4.4%)	94,200	95,900	1,700	437
営業利益	7,451	5,640	1,811 (32.1%)	11,600	11,600	0	1,446 (実質+153)
当純期利益	4,064	1,929	2,135 (110.7%)	5,600	5,000	600	752

PLDT社の持分法遡及適用後の数値

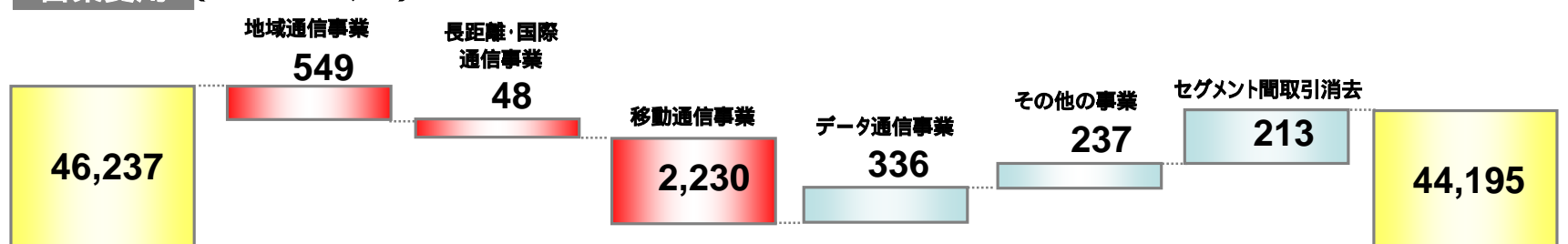
第2四半期決算(累計)セグメント別の状況

- 地域通信事業 : 減価償却費の減
- 長距離・国際通信事業 : 音声関連収入の減
- 移動通信事業 : 新たな販売モデルの拡大による代理店手数料の減
- データ通信事業 : SI事業の拡大、前年度実施の出向政策の見直しによる効果

営業収益 (対前年: 231)



営業費用 (対前年: 2,042)



営業利益 (対前年: +1,811)

2008.3期4-9実績	地域通信事業	長距離・国際通信事業	移動通信事業	データ通信事業	その他の事業	セグメント間取引消去	2009.3期4-9実績
5,640	62	22	1,657	149	27	8	7,451

2009年3月期 主要な会社別の通期業績予想のポイント



- 主要5社の2009年3月期の営業利益は、当初業績予想を確保
- フレッツ光の純増数は、下方修正（340万 280万契約）

主要5社の営業利益

(単位：億円)

	2009年3月期 通期業績予想(見直し後)	2009年3月期 通期業績予想(当初)	対当初予想 増減額
NTT東日本 (国内会計基準・単独)	400	400	0
NTT西日本 (国内会計基準・単独)	50	50	0
NTTコム (国内会計基準・単独)	1,100	1,100	0
NTTデータ (国内会計基準・連結)	1,050	1,050	0
NTTドコモ (米国会計基準・連結)	8,300	8,300	0

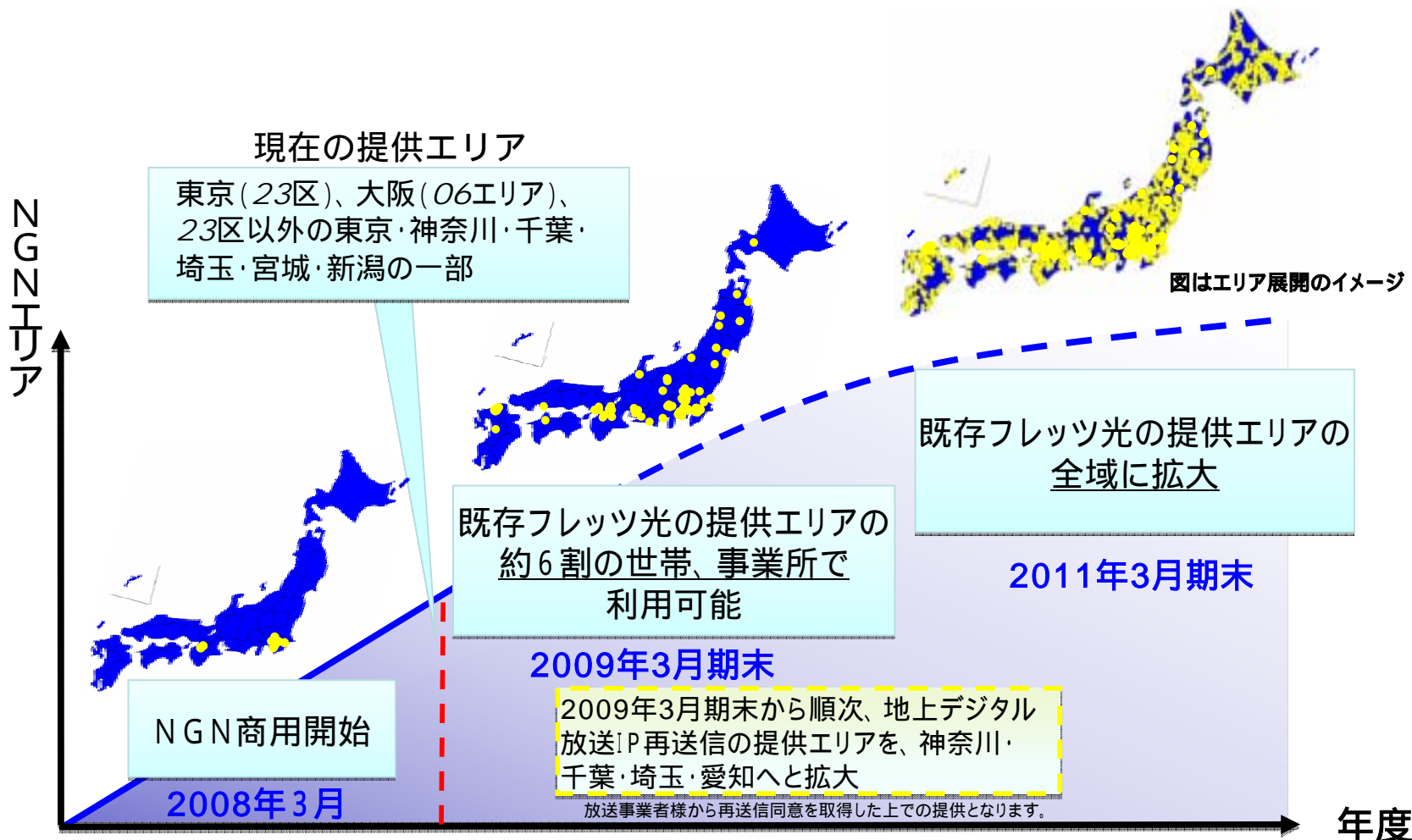
主要サービスの純増数

(単位：万契約)

	2009年3月期 通期業績予想(見直し後)	2009年3月期 通期業績予想(当初)	対当初予想 増減
フレッツ光	280	340	60
携帯電話	108	108	0

NGN(光アクセス)のエリア展開

- 今年度末には、既存フレッツ光の提供エリアの約6割の世帯、事業所で利用可能
- 2011年3月期末には、既存フレッツ光の提供エリア全域に拡大



NGNを中心としたサービス展開



- **ビジネス向け**：全国で利用可能なフレッツ・VPNワイドやHD品質のTV電話サービスを提供開始
 今後は、帯域確保型のVPN等を提供し、ビジネスの拡大や効率化をサポート
- **ホーム向け**：高品質なトリプルプレイを提供。さらに映像サービスのラインナップを拡充
 年内には、PCソフトフォンや高音質IP電話機等の端末機器を提供予定

		2009年3月期	現在	2010年3月期～
ビジネス向け	データ通信 / VPN	3月: フレッツ・VPN ゲート 3月: ビジネスイーサワイド	8月: フレッツ・VPN ワイド (東西接続等) 8月: LAN / WAN モニタ (端末監視)	10月: フレッツ光ネクスト (ビジネス、概ね1Gbps) ・帯域確保型VPN
	IP電話 / テレビ会議	3月: ひかり電話オフィスタイプ	6月: ユビキタスデスク (NEC)	10月: テレプレゼンス (シスコシステムズ) 10月: NGN対応ビジネスホン ・ひかり電話 (大規模事業所向け)
	その他のソリューション			10月: 仮想空間 (メタパース) 構築ソフト (3Di) ・遠隔保健指導 (トライアル) ・デジタルサイネージ (トライアル) ・SaaS共通基盤
ホーム向け	光ブロードバンド	3月: フレッツ光ネクスト (戸建て、マンション、100Mbps)	6月: フレッツ光ネクスト (マンションタイプ・ミニ・光配線)	
	IP電話 / テレビ電話	3月: ひかり電話 3月: フレッツフォン		・PCソフトフォン (高音質電話、テレビ電話が利用可) ・高音質IP電話機
	アプリケーション (上位レイヤ)	3月: ひかりTV 5月: 地上デジタル放送IP再送信 (ひかりTV) 8月: 音楽放送 (USEN)	9月: テレビ向け映像配信「GyaONEXT」 (USEN)	・「NHKオンデマンド」配信 (ひかりTV) ・BS放送IP再送信 (ひかりTV) ・HDD内蔵等の高機能STB (ひかりTV) ・ケータイ・PC連携サービス (ケータイ・PCでシームレスに利用できるメールサービス等)

(注) ・黒字: ネットワークサービス、青字: 端末・システム、緑字: ソリューション・アプリケーション、斜体: NTTグループ以外のサービス事業者、メーカー等が提供するもの (括弧内は社名)。

技術方式決定後、放送事業者様から再送信同意を取得した上での提供となります。

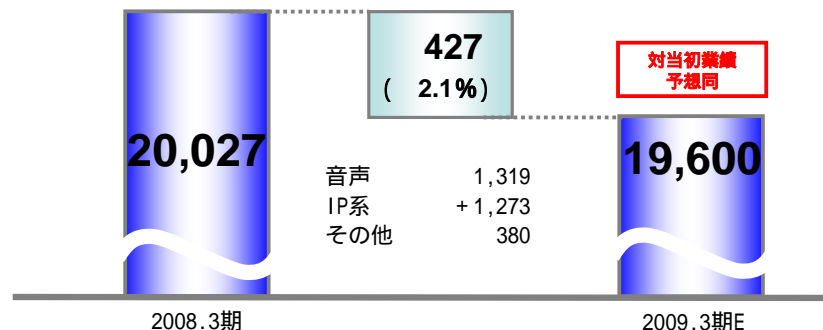
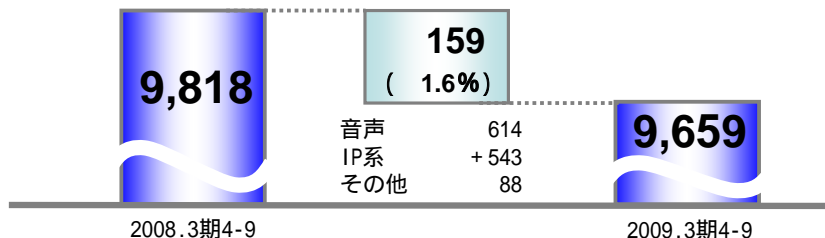
個別の決算状況

上期実績

業績予想

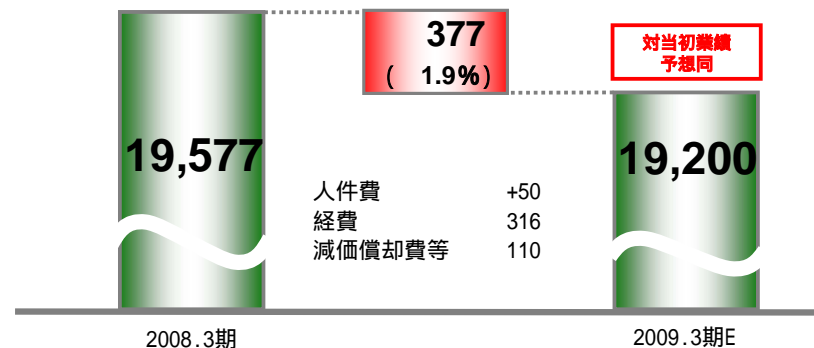
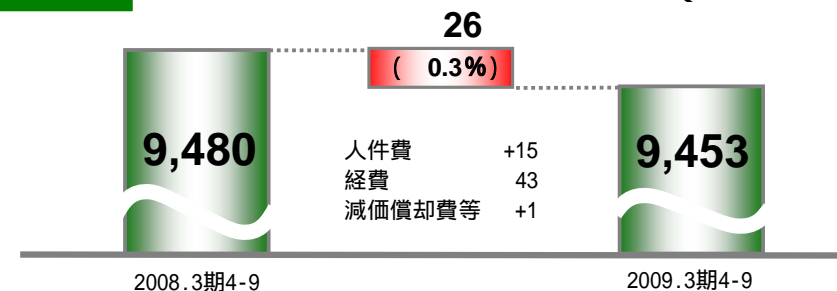
営業収益

(単位：億円)



営業費用

(単位：億円)



営業利益

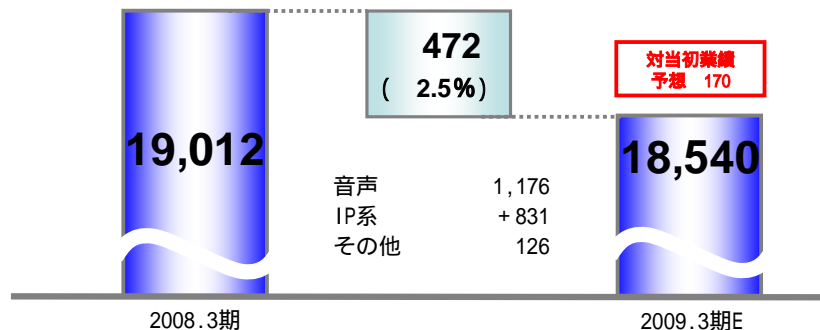
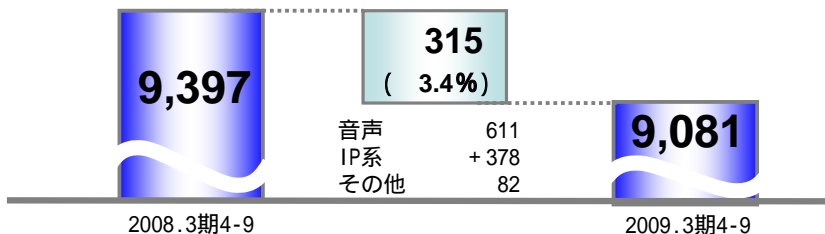


上期実績

業績予想

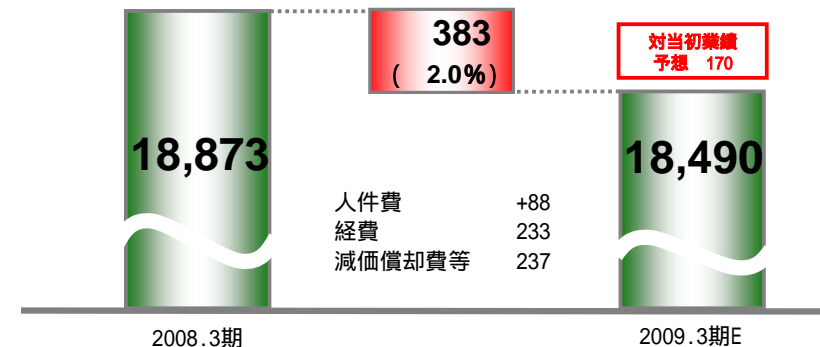
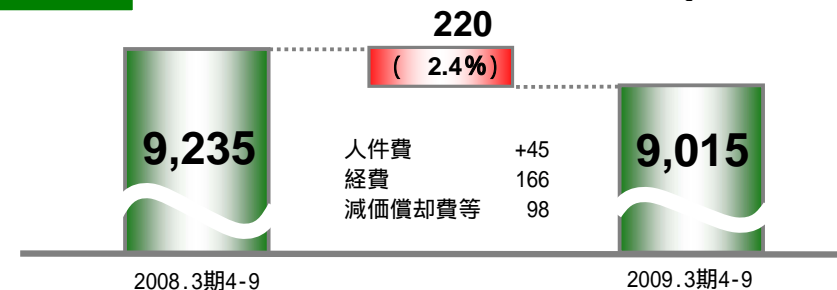
営業収益

(単位：億円)

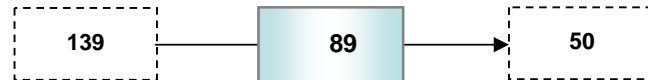
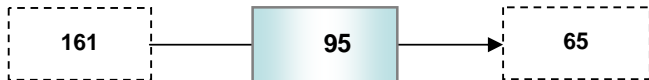


営業費用

(単位：億円)



営業利益

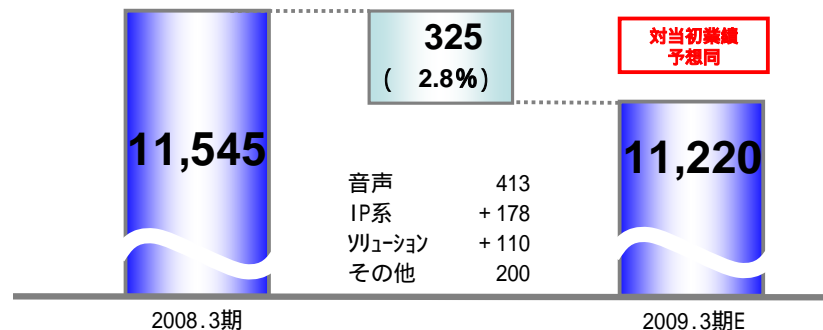
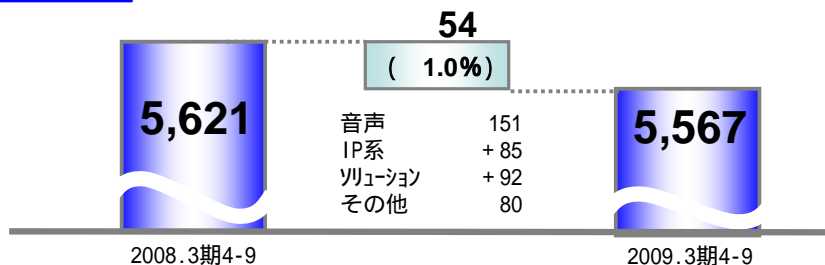


上期実績

業績予想

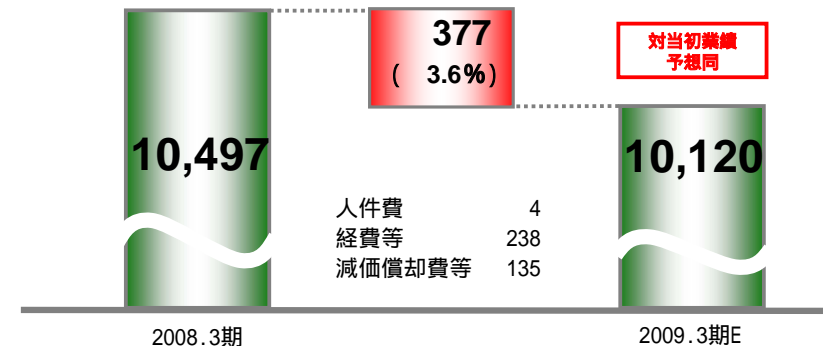
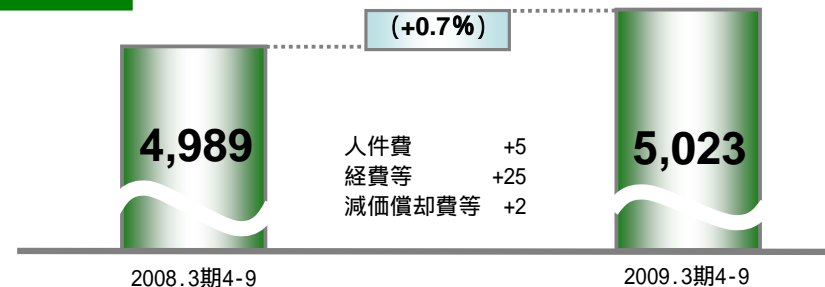
営業収益

(単位：億円)

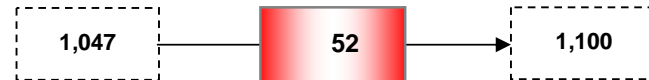
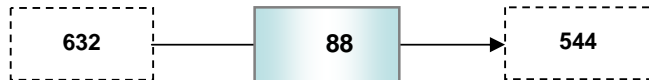


営業費用

(単位：億円)



営業利益

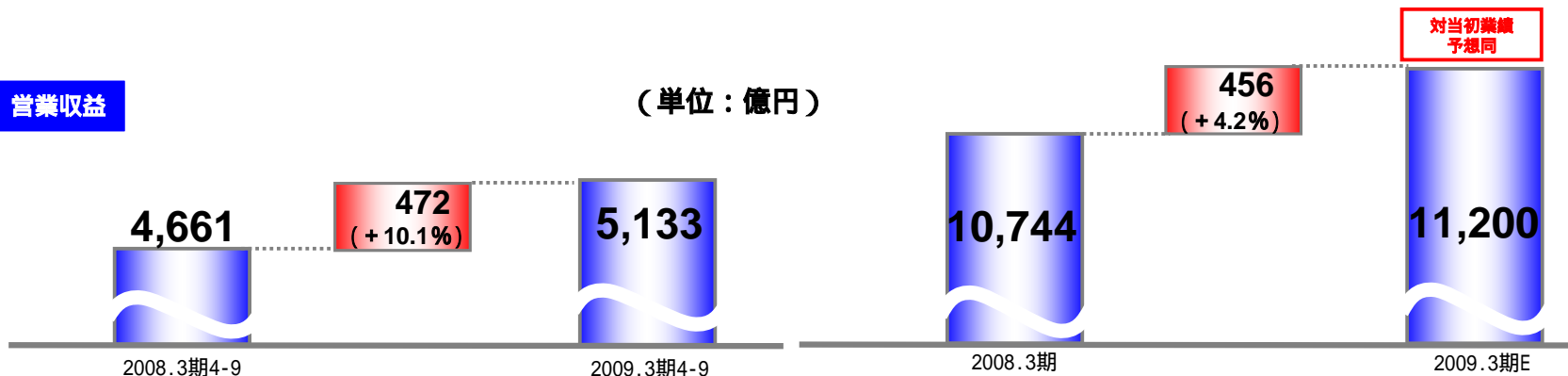


上期実績

業績予想

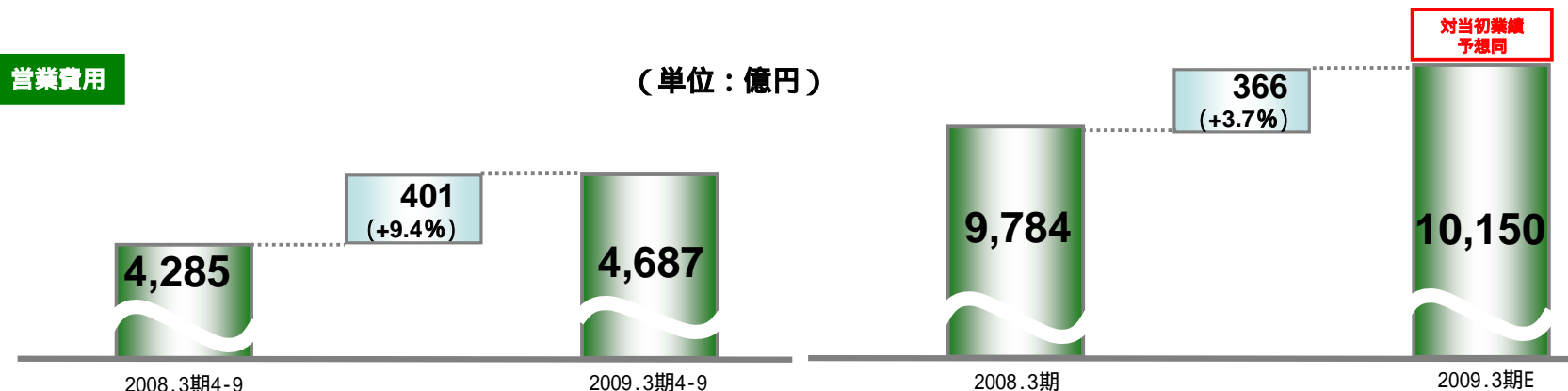
営業収益

(単位：億円)

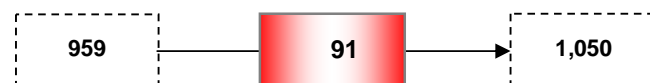
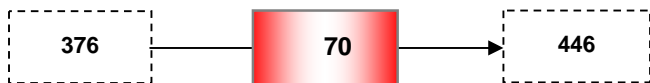


営業費用

(単位：億円)



営業利益

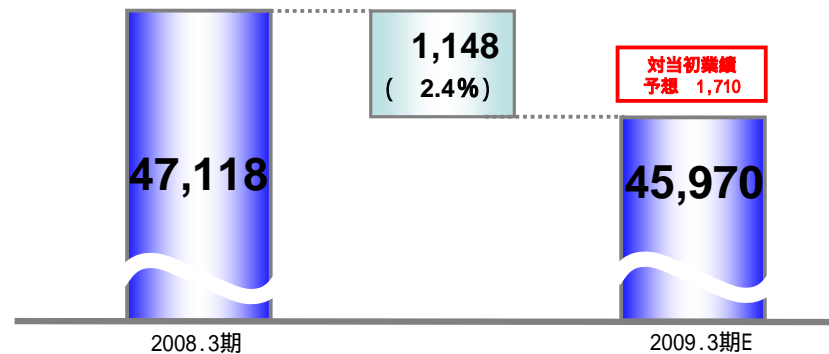
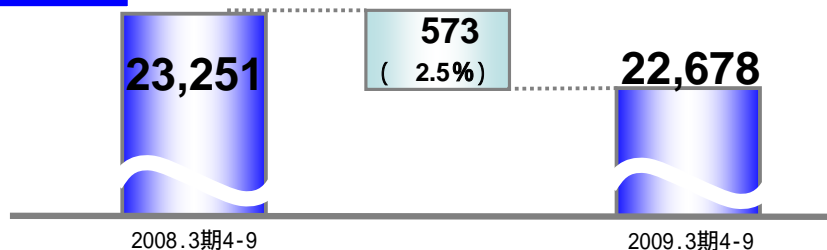


上期実績

業績予想

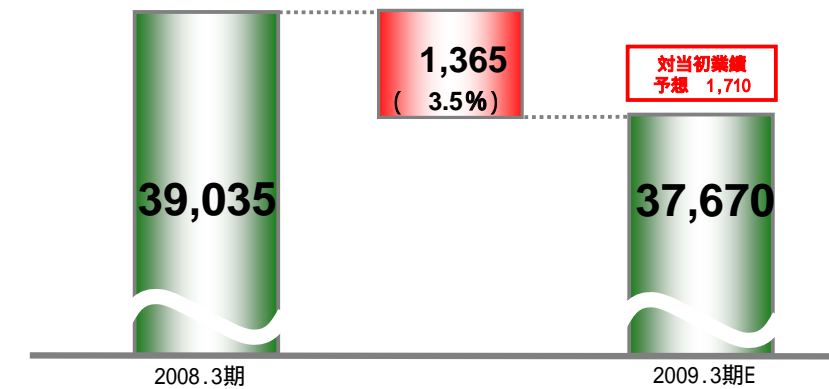
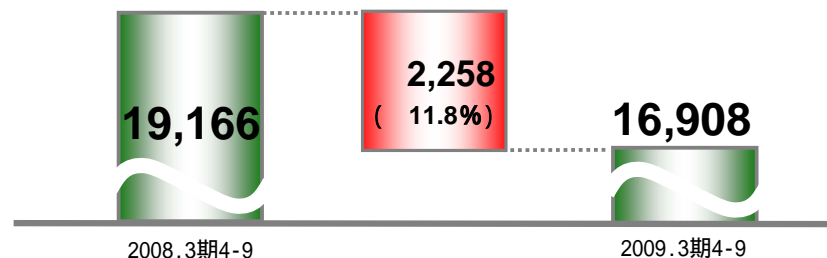
営業収益

(単位：億円)



営業費用

(単位：億円)



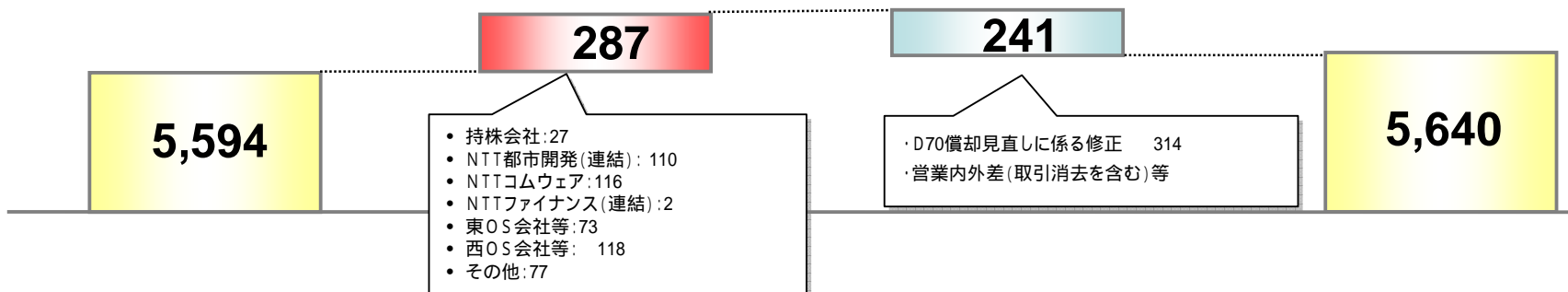
営業利益



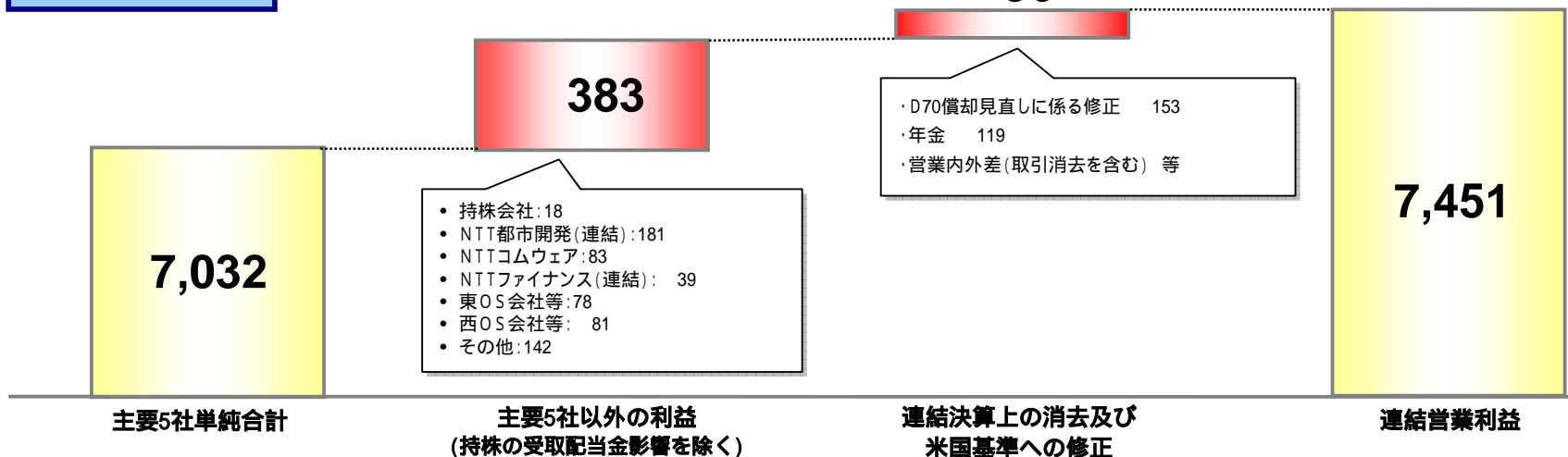
連結営業利益と主要5社営業利益単純合計の差の内訳

2008.3期 4-9実績

(単位：億円)



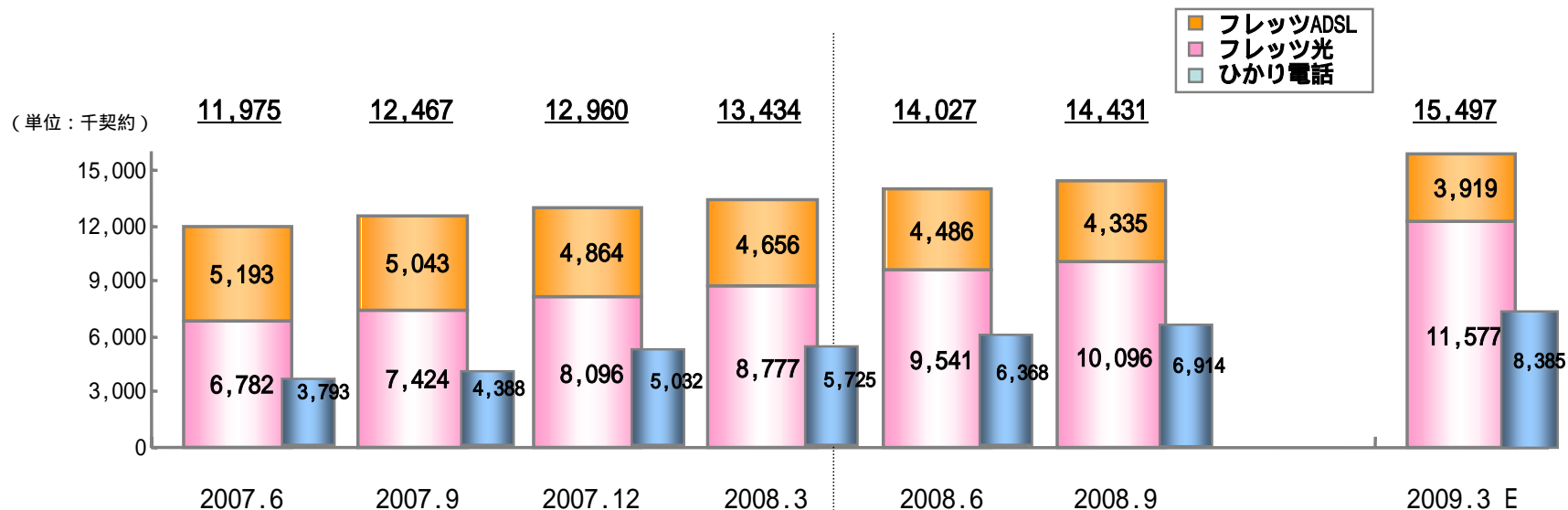
2009.3期 4-9実績



当四半期より、東OS会社等、西OS会社等の開示の範囲を見直しております。

主要オペレーションデータ

ブロードバンドアクセスサービスの契約数



対前四半期末純増(減)数

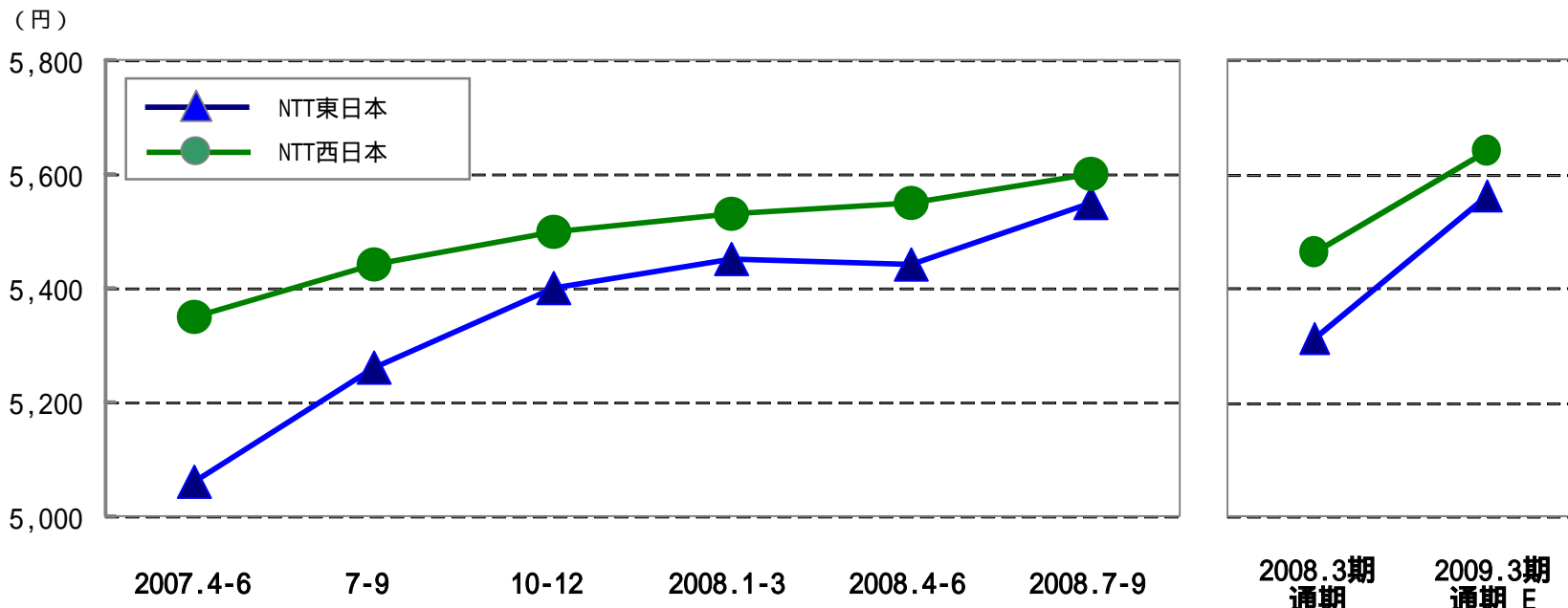
	2007.6	2007.9	2007.12	2008.3	2008.6	2008.9
フレッツ光 ¹	706	642	672	682	763	556
開通数 ²	961	856	909	1,016	1,099	870
フレッツADSL	130	150	179	208	170	151
ひかり電話 ³	619	596	643	694	643	546

(単位: 千契約)

通期 純増(減) 予想	2,800 (600) ⁴
	4,180 (-)
	737 (+233)
	2,660 (590)

1. フレッツ光は、NTT東日本のBフレッツ及びフレッツ 光ネクスト（2008年3月提供開始）、NTT西日本のBフレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・光マイタウン及びフレッツ 光ネクスト（2008年3月提供開始）を含めて記載しております。
2. 開通数には移転による開通も含まれております。
3. ひかり電話は、チャンネル数（単位：千）を記載しております。
4. 括弧内の数値は、当初業績予想からの増減です。

フレッツ光のARPU

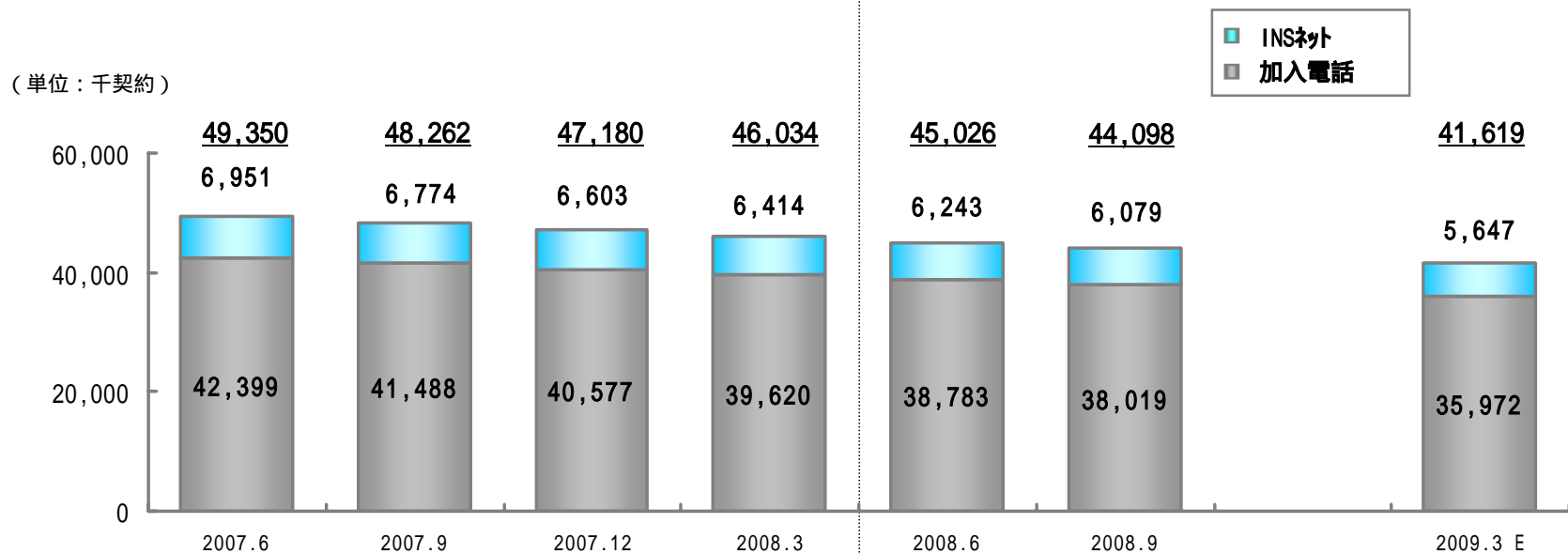


フレッツ光	東	5,060	5,260	5,400	5,450	5,440	5,550
	西	5,350	5,440	5,500	5,530	5,550	5,600

2008.3期 通期	5,310	5,560
2009.3期 通期 E	5,460	5,640

フレッツ光は、NTT東日本のBフレッツ及びフレッツ 光ネクスト（2008年3月提供開始）、NTT西日本のBフレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・光マイタウン及びフレッツ 光ネクスト（2008年3月提供開始）を含めて記載しております。なお、各ARPUの算定方法等については、28ページをご参照下さい。

固定電話の契約数



対前四半期末純減数

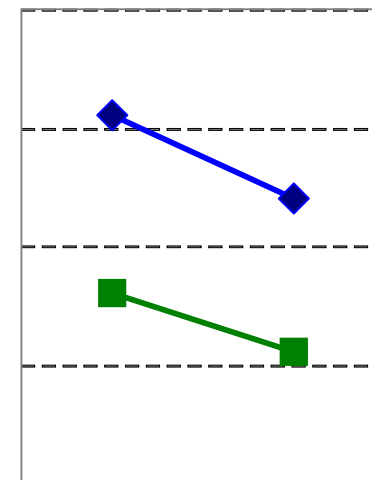
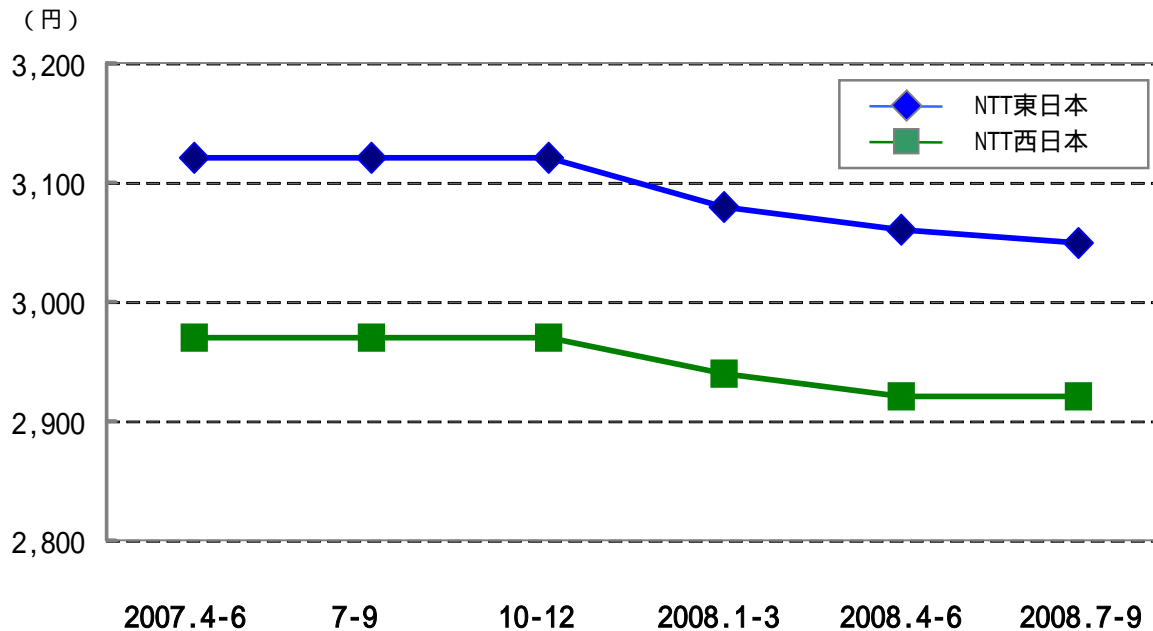
							(単位：千契約)	
加入電話 ¹	944	911	911	957	837	764	対前年度末 純減予想	3,648 (+711) ³
INSネット ²	201	177	171	190	171	164		766 (+75)
加入電話+INSネット	1,145	1,088	1,081	1,147	1,008	928		4,414 (+786)

1. 加入電話は、一般加入電話、ビル電話の合計であります（加入電話・ライトプランを含む）。

2. INSネット1500はチャンネル数、伝送速度、回線使用料（基本料）いずれについてもINSネット64の10倍程度であることから、INSネット1500の1契約をINSネット64の10倍に換算しております（INSネット64・ライトを含む）。

3. 括弧内の数値は、当初業績予想からの増減です。

固定電話のARPU

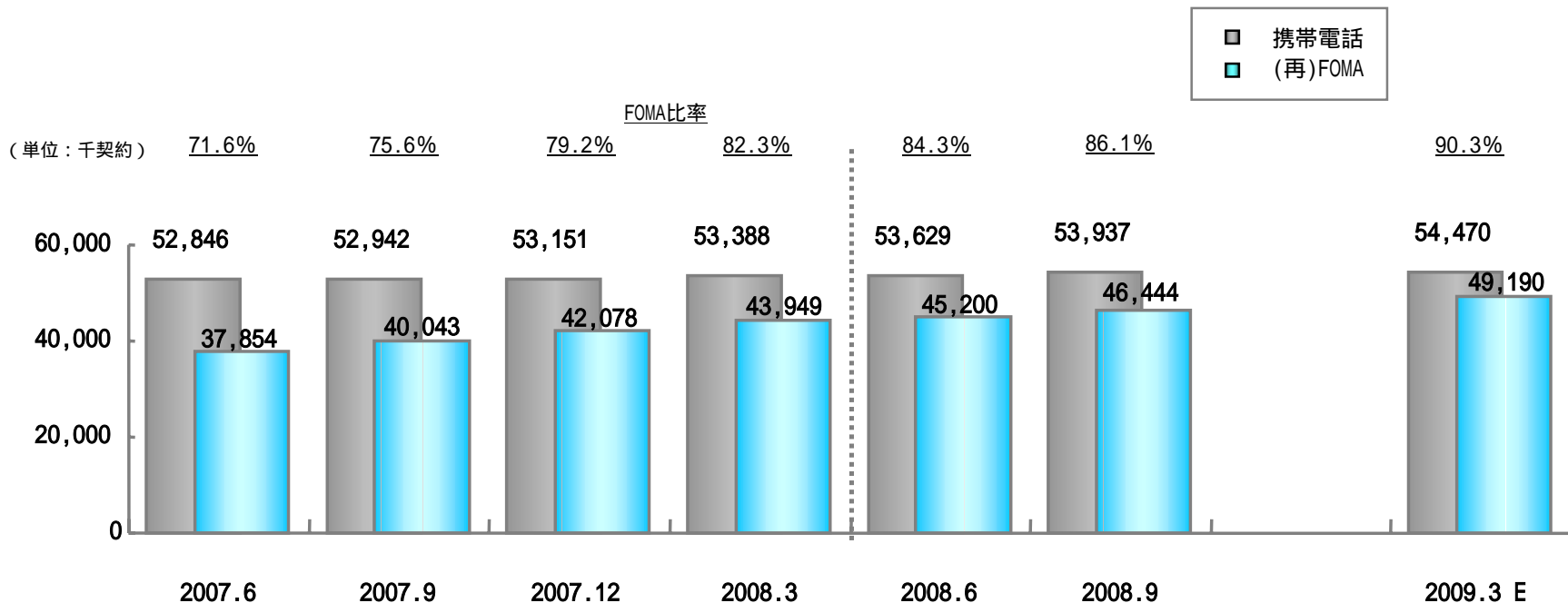


固定電話 総合 (加入 +INSネット)	東	3,120	3,120	3,120	3,080	3,060	3,050
	西	2,970	2,970	2,970	2,940	2,920	2,920

2008.3期 通期	2009.3期 通期 E
3,110	3,040
2,960	2,910

加入電話ARPUとINSネットARPUの加重平均値。なお、各ARPUの算定方法等については、28ページをご参照下さい。

携帯電話の契約数



対前四半期末純増数

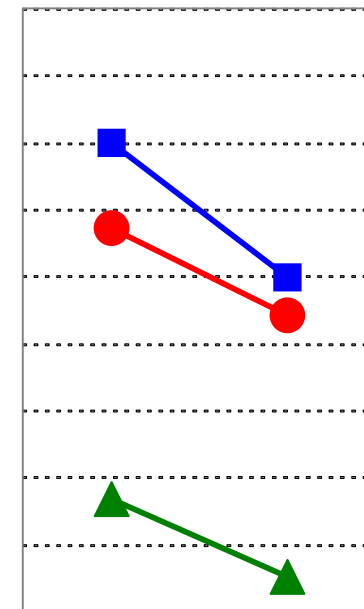
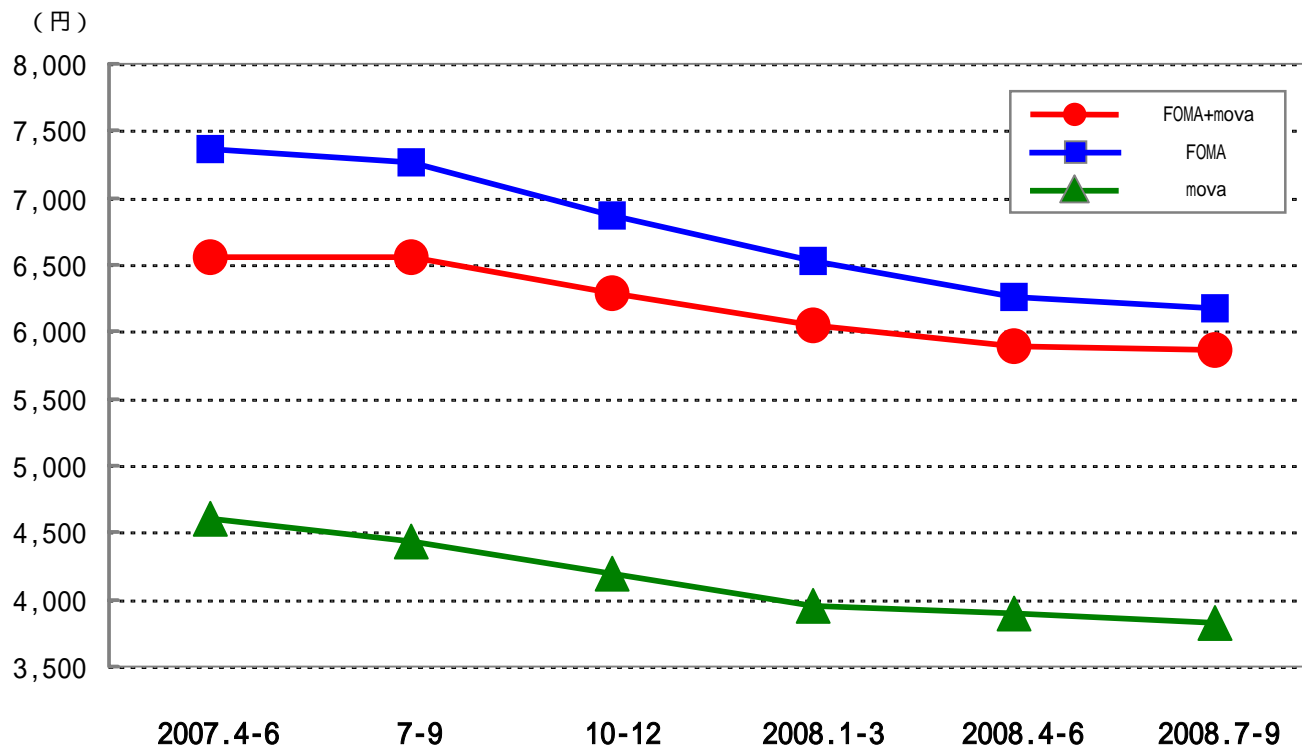
携帯電話 ¹	225	96	209	237	241	308
(再)FOMA	2,325	2,188	2,035	1,872	1,251	1,244

(単位：千契約)

純増 予想	1,080 (±0) ²
	5,240 (330)

1. 通信モジュールサービス契約数は携帯電話契約数に含めて記載しております。
2. 括弧内の数値は、当初業績予想からの増減です。

携帯電話のARPU



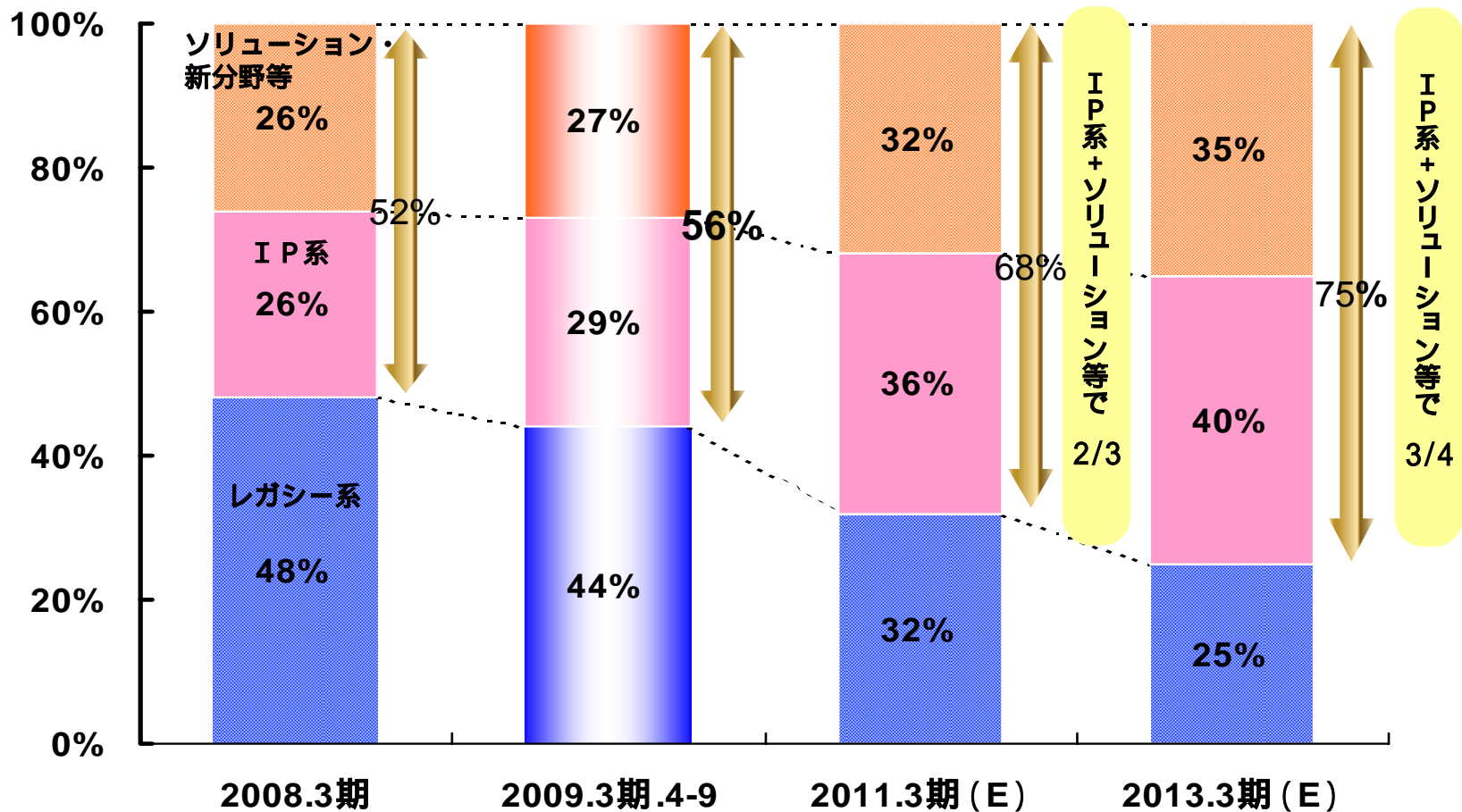
FOMA + mova	6,560	6,550	6,290	6,050	5,890	5,860
FOMA	7,370	7,270	6,870	6,530	6,260	6,180
mova	4,600	4,440	4,200	3,950	3,890	3,820

2008.3期通期	6,360	6,990	4,340
2009.3期通期E	5,710	5,990	3,760

通信モジュールサービスは、携帯電話ARPUの算定上、収入、契約数ともを含めておりません。なお、各ARPUの算定方法等については、28ページをご参照下さい。

Appendices

連結売上高の構成比イメージ

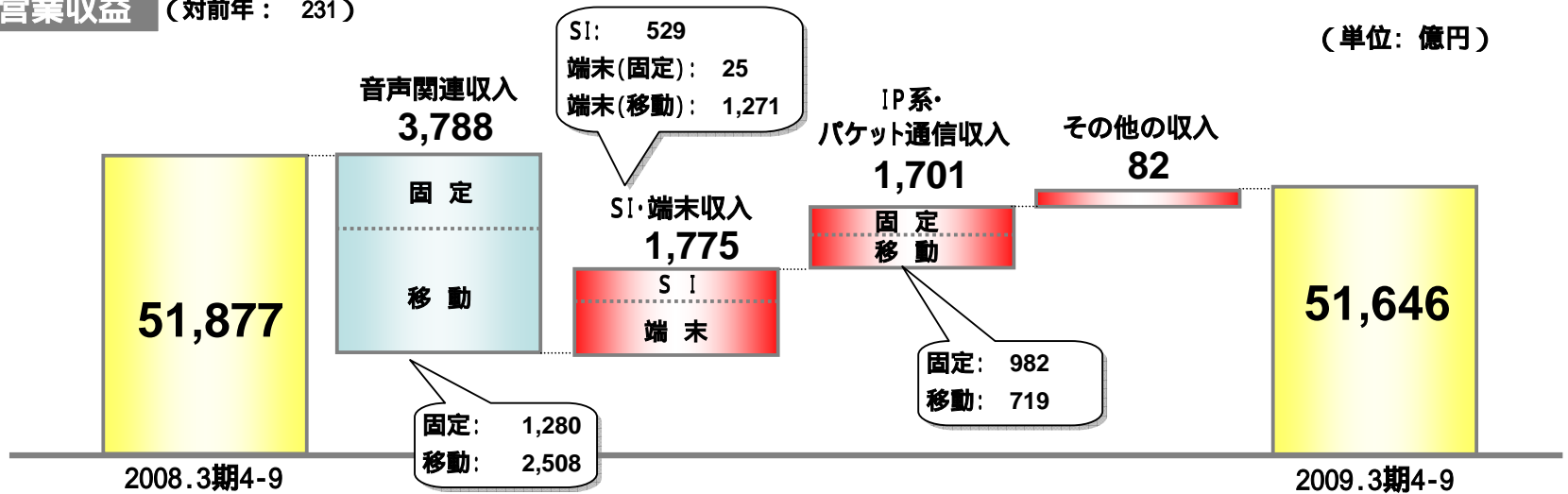


科目別の状況

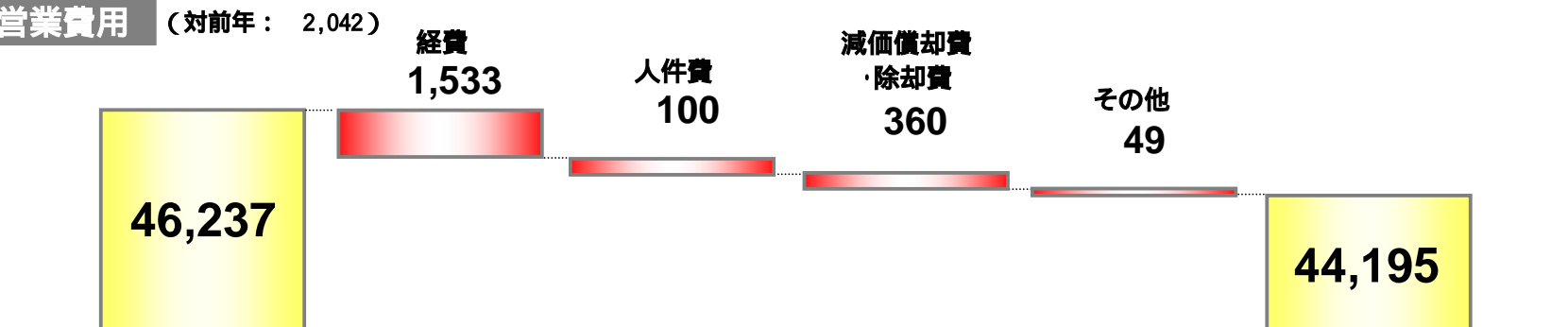


営業収益 (対前年: 231)

(単位: 億円)



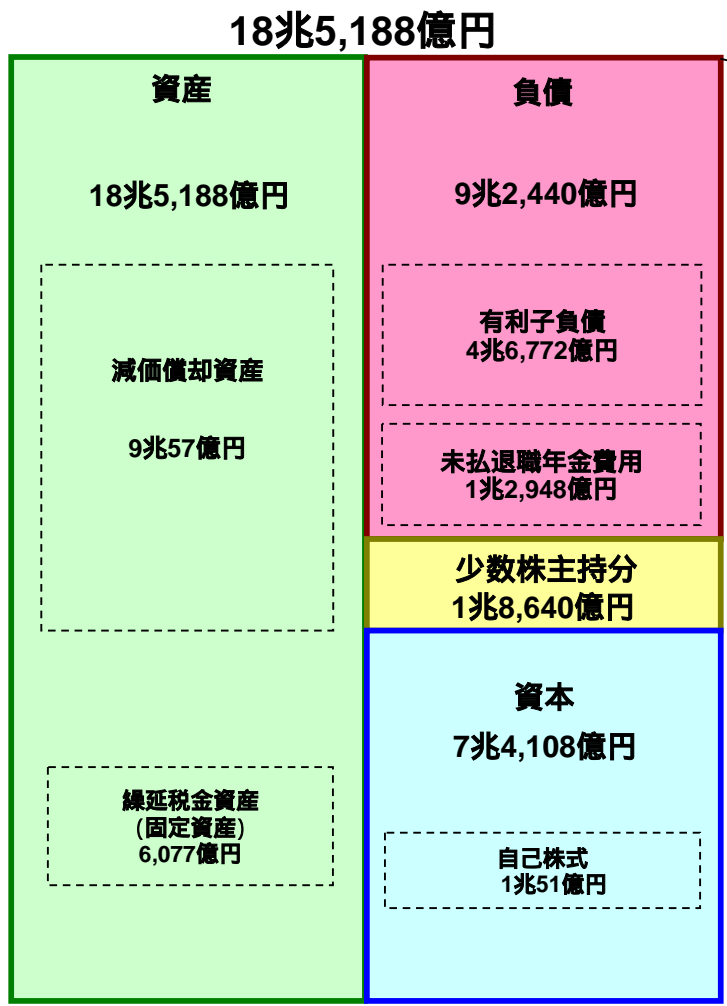
営業費用 (対前年: 2,042)



連結貸借対照表の状況

2008年3月期末

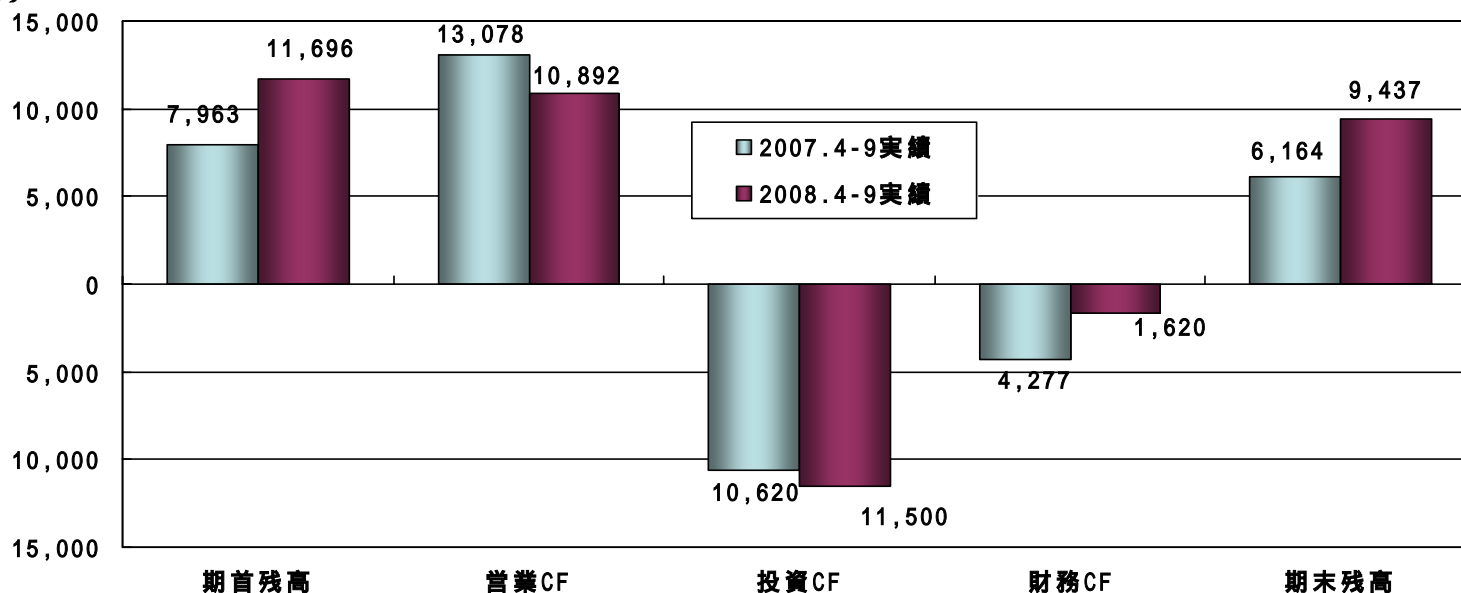
2009年3月期第2四半期末



連結キャッシュ・フローの状況

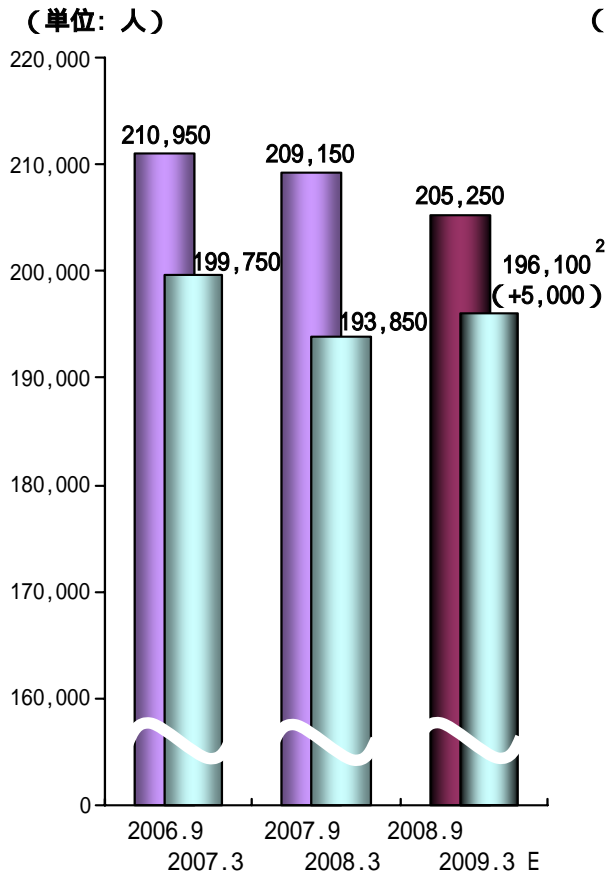
- 営業CFは、対前年同期比16.7% (2,186億円) の減少
 - ・割賦債権の影響による売掛金の増加 (961億円)、未払法人税等の減少 (779億円)
- 投資CFは、対前年同期比で8.3% (880億円) の支出増加
 - ・有形固定資産取得による支出の増加 (1,545億円)、長期投資の売却及び償還による収入の減少 (298億円)
- 財務CFは、対前年同期比で62.1% (2,657億円) の支出減少
 - ・長期借入債務による収入の増加 (2,946億円)、自己株式の取得による支出の増加 (1,008億円)
- 現預金及び現金同等物は、対当年度期首比19.3% (2,259億円) 減少し、9,437億円

(億円)

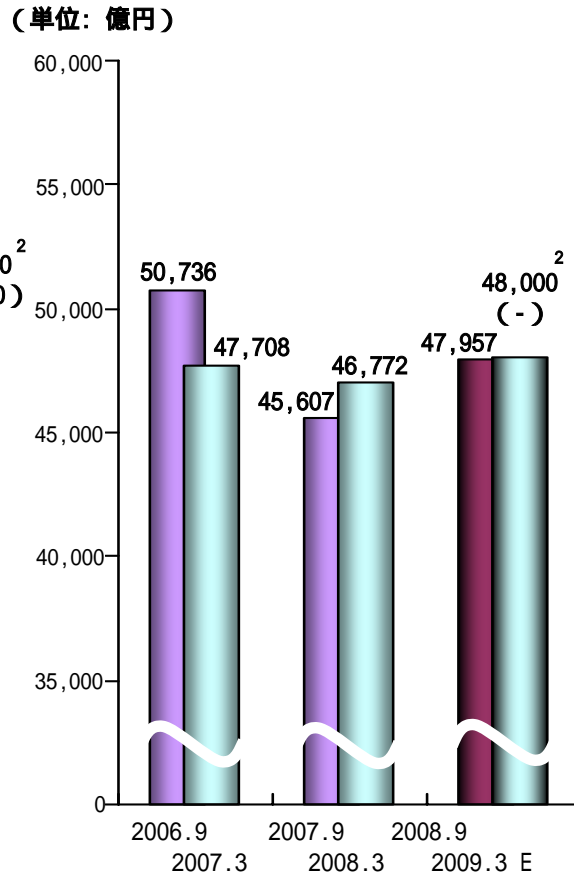


従業員数・有利子負債・設備投資額の状況

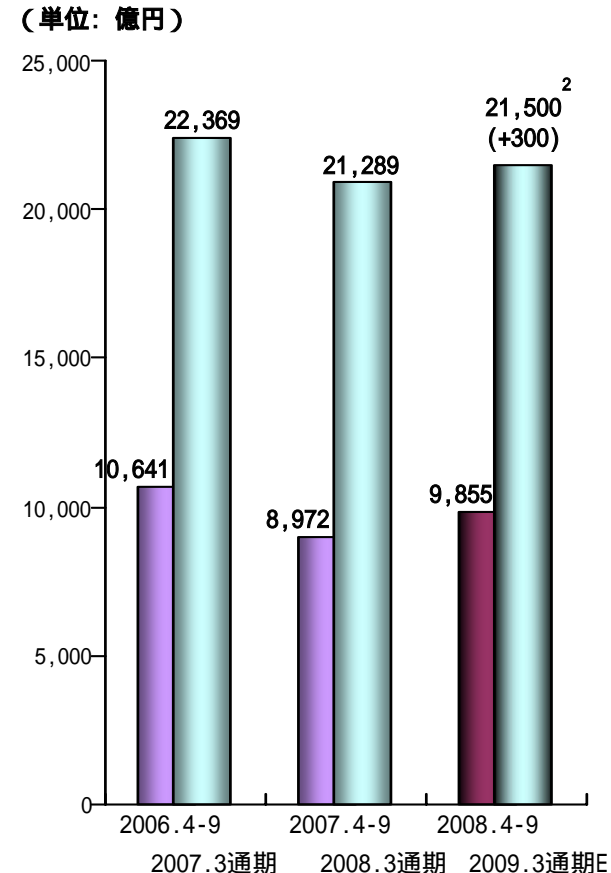
従業員数¹



有利子負債



設備投資額



1 期末の従業員数には、期末に退職後、翌期初に再雇用される人員を含んでおりません。

2 括弧内の数値は、当初業績予想からの増減を表します。

連結及び主要な会社別の2009年3月期第2四半期決算（累計）の概況 **NTT**

(単位:億円)

区分	NTT連結 ¹ <米国会計基準>						
	NTT(持株) <国内会計 基準・単独>	NTT東日本 <国内会計 基準・単独>	NTT西日本 <国内会計 基準・単独>	NTTコム <国内会計 基準・単独>	NTTデータ <国内会計 基準・連結>	NTTドコモ <米国会計 基準・連結>	
営業収益	51,646	2,081	9,659	9,081	5,567	5,133	22,678
対前年増減額 (増減率)	231 (0.4%)	131 (5.9%)	159 (1.6%)	315 (3.4%)	54 (1.0%)	472 (10.1%)	573 (2.5%)
通期予想(見直し後) (進捗率)	105,800 (48.8%)	3,650 (57.0%)	19,600 (49.3%)	18,540 (49.0%)	11,220 (49.6%)	11,200 (45.8%)	45,970 (49.3%)
営業費用	44,195	796	9,453	9,015	5,023	4,687	16,908
対前年増減額 (増減率)	2,042 (4.4%)	29 (3.8%)	26 (0.3%)	220 (2.4%)	34 (0.7%)	401 (9.4%)	2,258 (11.8%)
通期予想(見直し後) (進捗率)	94,200 (46.9%)	1,740 (45.8%)	19,200 (49.2%)	18,490 (48.8%)	10,120 (49.6%)	10,150 (46.2%)	37,670 (44.9%)
営業利益	7,451	1,284	205	65	544	446	5,769
対前年増減額 (増減率)	1,811 (32.1%)	160 (11.1%)	132 (39.1%)	95 (59.3%)	88 (14.0%)	70 (18.8%)	1,685 (41.2%)
通期予想(見直し後) (進捗率)	11,600 (64.2%)	1,910 (67.3%)	400 (51.5%)	50 (131.7%)	1,100 (49.5%)	1,050 (42.6%)	8,300 (69.5%)
税引前利益	7,712	² 1,312	² 443	² 142	² 658	² 433	5,602
対前年増減額 (増減率)	³ 1,977 (34.5%)	159 (10.8%)	19 (4.1%)	84 (37.4%)	61 (8.6%)	56 (15.0%)	1,493 (36.3%)
通期予想(見直し後) (進捗率)	11,500 (67.1%)	1,950 (67.3%)	700 (63.3%)	100 (142.2%)	1,100 (59.8%)	1,010 (42.9%)	8,140 (68.8%)
四半期純利益	4,064	1,298	441	107	560	227	3,467
対前年増減額 (増減率)	³ 2,135 (110.7%)	187 (12.6%)	290 (39.7%)	163 (-)	165 (41.7%)	15 (7.2%)	1,001 (40.6%)
通期予想(見直し後) (進捗率)	5,600 (72.6%)	1,960 (66.3%)	760 (58.0%)	60 (179.8%)	820 (68.4%)	540 (42.2%)	4,950 (70.0%)

1. 連結子会社 472社 持分法適用会社 87社

2. NTT(持株)~NTTデータの税引前利益欄には、経常利益を記載しております。

3. NTT連結の税引前利益及び四半期純利益における対前年増減額及び増減率は、P.L.D.T社の持分法遡及適用後の数値。

連結及び主要な会社別の2009年3月期通期業績予想

(単位: 億円)

区 分	NTT連結 ¹ <米国会計基準>						
	NTT(持株) <国内会計 基準・単独>	NTT東日本 <国内会計 基準・単独>	NTT西日本 <国内会計 基準・単独>	NTTコム <国内会計 基準・単独>	NTTデータ <国内会計 基準・連結>	NTTドコモ <米国会計 基準・連結>	
営業収益	105,800	3,650	19,600	18,540	11,220	11,200	45,970
対前年増減額 (増減率)	1,009 (0.9%)	107 (2.9%)	427 (2.1%)	472 (2.5%)	325 (2.8%)	456 (4.2%)	1,148 (2.4%)
対当初業績予想	1,700	0	0	170	0	0	1,710
営業費用	94,200	1,740	19,200	18,490	10,120	10,150	37,670
対前年増減額 (増減率)	437 (0.5%)	81 (4.9%)	377 (1.9%)	383 (2.0%)	377 (3.6%)	366 (3.7%)	1,365 (3.5%)
対当初業績予想	1,700	40	0	170	0	0	1,710
営業利益	11,600	1,910	400	50	1,100	1,050	8,300
対前年増減額 (増減率)	1,446 (11.1%)	189 (9.0%)	49 (11.1%)	89 (64.1%)	52 (5.0%)	91 (9.5%)	217 (2.7%)
対当初業績予想	0	40	0	0	0	0	0
税引前利益	11,500	11,950	1700	1100	11,100	11,010	8,140
対前年増減額 (増減率)	1,723 (13.0%)	227 (10.4%)	25 (3.8%)	148 (59.8%)	20 (1.8%)	67 (7.1%)	133 (1.7%)
対当初業績予想	200	50	100	0	0	0	210
当期純利益	5,600	1,960	760	60	820	540	4,950
対前年増減額 (増減率)	752 (11.8%)	1 (0.1%)	208 (21.6%)	437 -	192 (30.6%)	236 (77.3%)	38 (0.8%)
対当初業績予想	600	30	100	0	110	0	80

1. NTT(持株)~NTTデータの税引前利益欄には、経常利益を記載しております。

経営指標の状況

区 分	2008年3月期 通期実績	2009年3月期 通期予想
EBITDA マージン	33.8%	32.0%
営業フリーキャッシュ・フロー	14,871億円	12,360億円
ROCE	6.4%	5.6%

- (注) 1. EBITDAマージン = (営業利益 + DA) / 売上高
2. 営業フリーキャッシュ・フロー = 営業利益 + DA - 設備投資
3. ROCE = 営業利益 × (1 - 法定実効税率) / 稼動使用資本

経営指標の算定方法については、27ページをご覧ください。

経営指標の調整表

経営指標	内 訳	2008年3月期 通期実績	2009年3月期 通期予想
EBITDA マージン	営業利益	13,046	11,600
	減価償却費及び固定資産除却損	23,024	22,260
	EBITDA [+]	36,070	33,860
	売上高	106,809	105,800
	EBITDAマージン [/ ×100]	33.8%	32.0%
営業 フリーキャッシュ・フロー	営業利益	13,046	11,600
	減価償却費及び固定資産除却損	23,024	22,260
	EBITDA [+]	36,070	33,860
	設備投資*	21,289	21,500
	営業フリーキャッシュ・フロー [-]	14,781	12,360
ROCE	営業利益	13,046	11,600
	(法定実効税率)	41%	41%
	営業利益 × (1 - 法定実効税率)	7,708	6,844
	稼動使用資本	119,898	122,615
	ROCE [/ ×100]	6.4%	5.6%

設備投資額は、有形固定資産及び無形資産の取得に要した発生主義ベースでの把握金額を記載しており、連結キャッシュ・フロー計算書上の「有形固定資産の取得による支出」及び「無形資産及びその他の資産の取得」の金額とは、以下の差額が生じております。

	2008年3月期 通期実績
有形固定資産の取得による支出	12,597
無形資産及びその他の資産の取得	7,286
合計	19,883
設備投資との差額	1,405

ARPUの算定方法等

1契約当たりの月間平均収入（ARPU）は、契約者1人当たりの平均的な月間営業収益を算定するために使われます。固定通信事業の場合、ARPUは、地域通信事業の営業収益のうち、加入電話、INSネット、及びフレッツ光の提供により毎月発生する収入を、当該サービスの稼働契約数で除して計算されます。移動通信事業の場合、ARPUは、移動通信事業の営業収益のうち、携帯電話（movia）と携帯電話（FOMA）のサービス提供により毎月発生する収入（基本料、通話料/通話料）を、当該サービスの稼働契約数で除して計算されます。これら数字の計算からは、各月の平均的な利用状況を表さない端末機器販売、契約事務手数料、ユニバーサルサービス料などは除いています。こうして得られたARPUは各月のお客様ごとの平均的な利用状況を把握する上で有用な情報を提供するものであると考えております。なお、ARPUの分子に含まれる収入は米国会計基準による連結決算値を構成する財務数値により算定しております。

NTT東日本及びNTT西日本のARPUは、以下の4種類に分けて計算をしております。

- ・ 音声伝送収入（IP系除く）に含まれる加入電話とINSネットの基本料、通信・通話料、及びIP系収入に含まれるフレッツADSL、フレッツISDNからの収入に基づいて計算される固定電話総合ARPU（加入電話+INSネット）。
- ・ 加入電話の基本料、通話料、フレッツADSLからの収入に基づいて計算される加入電話ARPU。
- ・ INSネットの基本料、通信・通話料、フレッツISDNからの収入に基づいて計算されるINSネットARPU。
- ・ IP系収入に含まれるフレッツ光、フレッツ光のオプションサービスからの収入、ひかり電話における基本料・通話料・機器利用料、及び附帯事業営業収益に含まれるフレッツ光のオプションサービス収入に基づいて計算されるフレッツ光ARPU。
 - フレッツ光には、NTT東日本のBフレッツ及びフレッツ 光ネクスト（2008年3月提供開始）、NTT西日本のBフレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・光マイタウン及びフレッツ 光ネクスト（2008年3月提供開始）を含めております。
 - 平成21年3月期よりNTT東日本は、附帯事業営業収益に含まれるフレッツ光のオプションサービスであるフレッツ・ウイルススクリアの収入をフレッツ光ARPUの算定に含めております。これに伴い過年度である平成20年3月期第1四半期（4月～6月）、第2四半期（7月～9月）、第3四半期（10月～12月）、第4四半期（1月～3月）及び平成20年3月期通期についてもフレッツ・ウイルススクリアの収入をフレッツ光ARPUの算定に含めております。平成20年3月期第1四半期のフレッツ光ARPUのうち0円（同期ARPU全体の0.0%）、第2四半期のフレッツ光ARPUのうち0円（同0.0%）、第3四半期のフレッツ光ARPUのうち10円（同0.2%）、第4四半期のフレッツ光ARPUのうち10円（同0.2%）、平成20年3月期通期実績のフレッツ光ARPUのうち10円（同0.2%）、平成21年3月期第1四半期（4月～6月）のフレッツ光ARPUのうち10円（同0.2%）、平成21年3月期第2四半期（7月～9月）のフレッツ光ARPUのうち20円（同0.4%）、平成21年3月期第2四半期累計（4月～9月）のフレッツ光ARPUのうち20円（同0.4%）及び平成21年3月期通期予想のフレッツ光ARPUのうち30円（同0.5%）がフレッツ・ウイルススクリアの収入によるものです。平成21年3月期よりNTT西日本は、附帯事業営業収益に含まれるフレッツ光のオプションサービスであるセキュリティ機能ライセンス・プラスの収入をフレッツ光ARPUの算定に含めております。これに伴い過年度である平成20年3月期第1四半期（4月～6月）、第2四半期（7月～9月）、第3四半期（10月～12月）、第4四半期（1月～3月）及び平成20年3月期通期についてもセキュリティ機能ライセンス・プラスの収入をフレッツ光ARPUの算定に含めております。平成20年3月期第1四半期、第2四半期、第3四半期、第4四半期、平成20年3月期通期実績、平成21年3月期第1四半期（4月～6月）、平成21年3月期第2四半期（7月～9月）、平成21年3月期第2四半期累計（4月～9月）及び平成21年3月期通期予想の各フレッツ光ARPUに含まれるセキュリティ機能ライセンス・プラスのARPUは1円未満であります。尚、NTT西日本のセキュリティ機能ライセンス・プラスの収入は、セキュリティ機能の追加ライセンスをご利用のお客様に課金される利用料金であり、1ライセンス分はIP系収入に含まれるフレッツ光及びフレッツ光のオプションサービスの基本料金に含まれております。

固定電話総合ARPU（加入電話+INSネット）、加入電話ARPU、INSネットARPU及びフレッツ光ARPUには相互接続通話料が含まれておりません。

固定電話総合ARPU（加入電話+INSネット）、加入電話ARPU及びINSネットARPU算定上の契約数は、各サービスの契約数であります。

固定電話総合ARPU（加入電話+INSネット）及びINSネットARPUの算定上、INSネット1500の契約数は、チャネル数、伝送速度、回線使用料（基本料）いずれについてもINSネット64の10倍程度であることから、INSネット1500の1契約をINSネット64の10倍に換算しております。

フレッツ光ARPU算定上の契約数は、フレッツ光の契約数（フレッツ光はNTT東日本のBフレッツ及びフレッツ 光ネクスト（2008年3月提供開始）、NTT西日本のBフレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・光マイタウン及びフレッツ 光ネクスト（2008年3月提供開始）を含む）であります。

移動通信事業におけるARPUは、以下の3種類に分けて計算をしております。

- ・ 携帯電話総合ARPU（FOMA+movia） = 音声ARPU（FOMA+movia）+パケットARPU（FOMA+movia）
 - 音声ARPU（FOMA+movia）は、FOMA及びmoviaサービスによる音声サービスの基本料と通話料の収入に基づいており、また、パケットARPU（FOMA+movia）は、FOMAサービスによるパケットサービスの基本料と通話料の収入及びmoviaサービスによるiモードサービスの基本料と通話料の収入に基づいております。
- ・ 携帯電話総合ARPU（FOMA） = 音声ARPU（FOMA）+パケットARPU（FOMA）
 - 音声ARPU（FOMA）は、音声サービスの基本料と通話料の収入に基づいており、また、パケットARPU（FOMA）は、パケットサービスの基本料と通話料の収入に基づいており、いずれもFOMAサービスによるものです。
- ・ 携帯電話総合ARPU（movia） = 音声ARPU（movia）+iモードARPU（movia）
 - 音声ARPU（movia）は、音声サービスの基本料と通話料の収入に基づいており、また、iモードARPU（movia）は、iモードサービスの基本料と通話料の収入に基づいており、いずれもmoviaサービスによるものです。

通信モジュールサービスは、携帯電話ARPUの算定上、収入、契約数ともに含めておりません。

ARPU算出時の稼働契約数の計算式は以下のとおりであります。

- ・ 通期実績/予想 = $4月～3月までの各月稼働契約数 \{ (前月末契約数 + 当月未契約数) / 2 \}$ の合計
- ・ 第1四半期実績 = $4月～6月までの各月稼働契約数 \{ (前月末契約数 + 当月未契約数) / 2 \}$ の合計
- ・ 第2四半期実績 = $7月～9月までの各月稼働契約数 \{ (前月末契約数 + 当月未契約数) / 2 \}$ の合計
- ・ 第3四半期実績 = $10月～12月までの各月稼働契約数 \{ (前月末契約数 + 当月未契約数) / 2 \}$ の合計
- ・ 第4四半期実績 = $1月～3月までの各月稼働契約数 \{ (前月末契約数 + 当月未契約数) / 2 \}$ の合計

なお、NTT東日本及び西日本における通期予想ARPU算出時の稼働契約数の計算式は以下のとおりであります。

- ・ 通期予想 = $4月～9月までの各月稼働契約数 \{ (前月末契約数 + 当月未契約数) / 2 \}$ の合計と下期平均稼働契約数 $\{ (9月末契約数 + 3月末未契約数) / 2 \} \times 6$ の合計